



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和7年4月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和7年4月21日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 赤城自然園との連携協定による催しなどを紹介します(資料1)
- 2 渋川市の特産であるコンニャク価格の低迷に苦しむ
市内コンニャク芋生産者に対して支援金を交付します(資料2)
- 3 渋川市内の農業活性化を目的に渋川市産の農作物をPRする活動に対し
補助金を交付します(資料3)
- 4 自分のペースで自宅で行う脳の健康度セルフチェック事業を実施します(資料4)
- 5 渋川市美術館企画展「渋川市手わざの美と心展」を開催します(資料5)
- 6 令和7年度第1回「渋川まちかどトーク」をマンマ・おのがみの皆さんと
開催します(資料6)

その他資料提供

- ・渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します(資料7)
- ・渋川市20周年記念事業 第20回渋川市民スポーツ祭総合開会式を開催します
(資料8)

○次回開催予定

日時：令和7年4月28日(月) 午後1時
場所：渋川市役所本庁舎2階 記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
4月21日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	14:30	スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
4月22日(火)	10:00	ごみ処理事業に関する協議会	広域組合事務所	広域組合
	13:30	渋川警察署北橋駐在所開所式	北橋町真壁地内	危機管理室
	18:00	地場産品直売所利用組合総会	子持公民館	農政課
4月23日(水)	9:00	スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:00	スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
4月24日(木)	11:00	上武国道建設期成同盟会令和7年度決算監査	市役所本庁舎	土木管理課
	19:00	渋川市青少年育成推進員連絡協議会総会	市役所第二庁舎	生涯学習課
4月25日(金)	9:00	スタートアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
	14:30	渋川市老人クラブ連合会定期総会	金島ふれあいセンター	高齢者安心課
	17:30	渋川地区自治会連合会歓送迎会	ホワイトパーク	市民協働推進課
4月26日(土)	9:00	第20回渋川市民スポーツ祭総合開会式	瑞穂建設スタジアム	スポーツ課
	18:00	渋川市武道振興会総会	ホワイトパーク	スポーツ課
4月27日(日)				
4月28日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00 終了後	地域おこし協力隊委嘱状交付式 市長定例記者会見	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 広報室

赤城自然園との連携協定による催しなどを紹介します

渋川市は、赤城自然園と締結している包括連携協定の取り組みの一環として、「観光×環境×健康」をつなぐ、電動アシスト自転車「あじサイクル」を利用した催しを、今年は渋川市20周年記念事業とし、春から秋まで期間を延長して開催します。

合わせて、渋川市が全国に誇る赤城自然園の魅力を、肌で感じてもらえる催しなどを紹介します。

1 概 要

渋川市と赤城自然園（運営：(株)クレディセゾン）は、緊密に連携しながら双方の資源を有効に活用することを目的として包括連携協定を締結しています。

この包括連携協定の取り組みの一環として「観光×環境×健康」をつなぐ催しとして、前年から期間を大幅に延長した「ちゃりチャレ2025「赤城自然園」森までクライム」を行います。渋川市の雄大な景観を楽しんでもらいながら、環境負荷のかからない自転車による移動で健康増進につながります。

また、標高600mの赤城自然園は、癒し効果が科学的に実証された「森林セラピー基地」に認定されています。都会の喧騒を離れて、日常とは異なる自然体験と、訪れるたび新しい発見がある森を、存分に楽しめる催しを紹介します。

2 渋川市20周年記念事業 ちゃりチャレ2025「赤城自然園」森までクライム

期間中、電動アシスト自転車「あじサイクル」をレンタルして赤城自然園までのヒルクライムにチャレンジし、園内散策を楽しんでくれる人に赤城自然園ご招待券を進呈します。

これまでの「春」と「秋」の年2回開催していた「ちゃりチャレ」を渋川市20周年を記念し、春から秋まで期間を延長して開催します。

- | | |
|-----------|--|
| (1) 実施期間 | 令和7年4月29日(火)～11月30日(日)
※赤城自然園の休園日は除く |
| (2) 受付場所 | 渋川駅前プラザ1階 |
| (3) 受付時間 | 午前10時～午後1時
※赤城自然園の入園時間は午後3時30分までです
(営業時間：午前9時～午後4時30分) |
| (4) 対 象 者 | あじサイクルで赤城自然園を目指す高校生以上の人
※写真付き身分証明書の提示が必要です |

- (5) コース 渋川駅前プラザ（しぶさん）～赤城自然園
- (6) 予約 あじサイクル10台(スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台)
のうち5台まで事前予約が可能です。
※貸出可能な自転車が無くなり次第受付終了となります
- (7) 予約受付 渋川駅前証明サービスコーナー
※受付時間：午前10時30分～午後7時（毎週火曜日を除く）
※電話番号：0279-24-0022

(8) 注意事項

- ①ご招待券のプレゼントは期間中1人3回までです
- ②同日に複数回分の招待券を受け取ることはできません。1日に受け取れる招待券はその日の1回分のみです
- ③荒天時はあじサイクルの貸出しを中止する場合があります
- ④あじサイクル以外の自転車での挑戦はちゃりチャレの該当になりません
- ⑤乗り方により、自然園到着前にバッテリーがなくなる場合もあります。あらかじめご承知おきください

3 「赤城自然園」の見どころや催しなど

(1) 「五感」で感じる赤城自然園の森の癒し

「視覚」、「聴覚」、「嗅覚」、「触覚」、「味覚」の五感を研ぎ澄ませば、森の生命力と静けさが、あなたの心と体を優しく包み込みます。

足元に広がる土の温もりを感じながら、ゆっくりと赤城自然園の森を歩けば、日常の喧騒から解放され、本来の自分を取り戻す、特別な時間が過ごせます。

(2) プログラム・ツアー・イベント

①本日の見どころを紹介するプログラム

赤城自然園の成り立ちや当日の園内の見どころを案内する各種「園内ガイド」を毎日開催。

詳細は、総合案内所横のインフォメーションボードでご確認ください。

②医師監修森林セラピープログラム

赤城自然園がお届けする「森deリトリート【要予約】」は、栄養専門の精神科医である奥平智之先生監修の本格的な森林セラピープログラムです。

プログラム中は、森林セラピーガイドの資格を持つスタッフが同行します。

③お子様向けのプログラム

赤城自然園の葉っぱを使って、世界にたった一つのオリジナルアート作品をつくる「葉っぱdeあそぼう」を無料で開催。

その他にも子供向けプログラムや夏休み中などの期間限定イベントを企画中。

④森を楽しむプログラム

自然の中で楽しむ新体験「森deモルック」は、シンプルなルールで老若男女問わず誰でも楽しめるアウトドアスポーツです。「自然の中で遊びたいな」「ゆる～く体を動かしたいな」と思っている人は、ぜひ、赤城自然園で、一緒にモルックを体験してみませんか

※その他にも季節に応じてイベントを多数実施。予約制のイベント・プログラムについては、ホームページを確認の上、電話もしくは窓口でお申し込みください

(3) ゴールデンウィーク中の花の見どころ情報

- ①シャクナゲ（華やかな花を咲かせる低木で豪華絢爛な花姿が印象的です）
- ②ヤマツツジ（春の山野を鮮やかに彩るオレンジ色の美しい花が新緑に映えます）
- ③ハンカチノキ（花についた白い大きな二枚の苞葉が特徴の落葉高木です）

4 記者会見出席者

赤城自然園 総支配人 内山 純一（うちやま じゅんいち）さん

参考

1 赤城自然園との連携協定

(1) 協定締結日 平成31年4月5日

(2) 概要

渋川市と赤城自然園を運営する株式会社クレディセゾン（本社：東京豊島区代表取締役COO：水野 克己）は、平成31年4月5日に連携協力に関する協定を締結しています。この協定は、双方の有する資源を有効に活用することにより、相互の発展及び充実に努めるとともに、地域社会の発展に資するものです。

この協定により、健康増進を目的とした森林セラピー基地としての活用や観光客の誘致による地域経済の活性化などを推進していきます。

2 赤城自然園について

赤城自然園（渋川市赤城町南赤城山892）は、(株)クレディセゾンが「次世代を担う子どもたちに豊かな自然を引き継ぐ」ため、平成22年から社会貢献活動の一環として運営し、平成30年4月から、通年開園を行っています。

園には、約500種の四季折々の豊富な山野草が茂り、北関東に生息する1,800種を超える昆虫類や鳥類を自然に近い形で見るができます。

また、癒やし効果が実証された「森林セラピー基地」として認定され、企業や団体などでの健康増進イベントの開催場所としても利用されています。

3 あじサイクルについて

(1) 概 要

市民や本市を訪れる観光客の移動手段として、電動アシスト自転車10台(スポーツタイプ5台、ママチャリタイプ5台)の貸し出しを令和元年5月19日から始めました。この事業は、群馬県立渋川女子高等学校の総合的な学習の時間の中で生徒から提案されたものです。事業化に当たり、愛称や自転車のラッピングデザインの選定にも、同校生徒に協力してもらいました。

(2) 利用実績

年 度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
件 数	882件	694件	820件	863件	1,002件

※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大により一時貸出し中止

(3) ちゃりチャレの実績

- ①2023年春開催（実施期間：4月29日～5月7日）＝21件利用
- ②2023年秋開催（実施期間：11月3日～12日・定休日の7日を除く）＝17件利用
- ③2024年春開催（実施期間：4月27日～5月6日）＝12件利用
- ④2024年秋開催（実施期間：11月2日～10日・定休日の5日を除く）＝8件利用

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：産業政策課（電話0279-22-2596）

課長 山田 量俊（内線4890）

商工・産業振興係長 保科 陽介（内線4895）

資料2

渋川市の特産であるコンニャク価格の低迷に苦しむ 市内コンニャク芋生産者に対して支援金を交付します

国内におけるこんにゃくの消費が低迷し、コンニャク粉の在庫が増加していることから、取引価格が下落し、コンニャク農家の経営は厳しさを増しています。そこで、渋川市の特産であるコンニャク芋生産者に対して支援金を交付します。

1 概 要

物価高騰や売り上げ減が続く昨今において、農業では農業資材や化学肥料、燃料等の価格上昇が著しく、農産物等の販売価格への転嫁が難しい状況が続いています。その中での農業経営は、非常に厳しい状況にあります。

中でも、渋川市の特産であるコンニャクは、資材価格の高騰に加えて、精粉の過剰在庫などの原因により取引価格が下落し、生産者は非常に厳しい経営状況が続いています。

そのため、渋川市は、コンニャク芋生産者の経営安定を図るため、一定の要件を満たす市内のコンニャク芋生産農家に対し、支援金を交付します。

2 交付対象者

次の全てに該当する農業経営体（個人又は法人）を対象とします。

- (1) 令和6年1月1日～12月31日までの期間において、渋川市でコンニャク芋を耕作して出荷した実績があり、農産物販売金額が年間20万円以上であること
- (2) 個人は渋川市内に住所を、法人は渋川市内に事業所を有すること
- (3) 補助金受領後もコンニャク芋の生産を継続する意欲があること。

3 支援金の額

補助金の交付金額は、コンニャクの経営面積に応じて、1経営体につき次のとおり。

- (1) 1.0ha未満＝10万円
- (2) 1.0ha以上5.0ha未満＝18万円
- (3) 5.0ha以上＝25万円

4 申請手続

次の申請書類等を郵送（〒377-8501・渋川市石原80）、メール（ninaite@city.shibukawa.gunma.jp）又は持参で農政課へ提出してください。

- (1) 渋川市こんにゃく生産者経営支援事業補助金交付申請書兼請求書
- (2) 出荷伝票の写し及び経営農地一覧表
- (3) 申請者名義の通帳の写し（金融機関名、支店名、支店番号、口座種類、口座番号及び口座名義人が確認できるもの）
- (4) 個人の場合：本人確認書類（運転免許証、個人番号カード、健康保険証等）の写し、直近の所得税確定申告書第一表又は住民税申告書の写し
- (5) 法人の場合：履歴全部事項証明書又は所在地証明書の写し、直近の事業年度の法人税申告書及び法人事業概況説明書の写し

5 申請受付期間 令和7年5月1日(木)～9月30日(火)

6 周知方法 広報しぶかわ5月号、渋川市公式ホームページ

7 予算額 2,986万円

参考

渋川市内のコンニャク芋生産農家数（令和6年7月1日時点）

生産農家総数＝175件

【内訳】販売農家：専作農家数＝55件

：複合農家数＝113件

自家消費農家数＝7件

経営面積	戸数
0.1ha未満	1
0.1ha以上～0.5ha未満	18
0.5ha以上～1.0ha未満	26
1.0ha以上～1.5ha未満	34
1.5ha以上～3.0ha未満	38
3.0ha以上～5.0ha未満	30
5.0ha以上～10.0ha未満	17
10.0ha以上～20.0ha未満	7
20.0ha以上	4
合計	175

※こんにゃく作付け動向調査の結果資料による

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：農政課（電話0279-22-2593）

課長 山田 豊（内線4971）

担い手支援係長 川田 美穂子（内線4975）

資料3

渋川市内の農業活性化を目的に渋川市産の農産物を PRする活動に対し補助金を交付します

渋川市は、令和7年度の新規事業として、渋川市内で生産されている農産物・畜産物や、市内で生産されている原材料を用いた加工品のPR活動に対し、上限10万円の補助金を交付します。

1 概 要

農業をとりまく現状は、農業従事者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加が深刻な状況となっています。さらに、肥料や燃料、資材などの物価高騰による経費の増大がかさんでいるものの、その上昇分を販売価格に転嫁できずに、経営は非常に大変な状況となっています。

そのため、渋川市は、コンニャクをはじめとした渋川市産農畜産物の消費拡大を目的とするPR活動に対して支援を行うことにより、販路や消費の拡大につなげ、市内農業の活性化を図ります。

2 補助対象事業

渋川市産農産物の消費拡大を目的としたPR活動に係るものとし、以下に掲げるものを除きます。

- (1) 政治及び宗教活動を目的とするもの
- (2) 営利を目的とするもの

3 補助対象者

3人以上の農業者で構成される団体（代表者の定めがある団体に限る）で、その構成員の過半数が渋川市の住民基本台帳に記録されている団体を対象とします。

4 補助対象経費

補助対象事業に要した、以下に掲げる経費を対象とします。

- (1) イベント等に出店をするために徴収される負担金等
- (2) 無料配布、試食又は試飲に要する経費
- (3) 無料で体験活動を実施する経費

※関係者の飲食に要する経費や備品購入品などは対象外です

5 補助金の額

補助対象経費に対し補助率10分の10の額を補助（上限10万円）

※交付を受けることのできる補助金は、1事業におけるPR活動につき1度まで

6 申請手続

補助対象事業に着手する日の7日前までに、次の申請書類等を郵送（〒377-8501・渋川市石原80）、メール（ninaite@city.shibukawa.gunma.jp）または持参で農政課へ提出してください。

- （1）渋川市農産物消費拡大推進事業補助金交付申請書
- （2）事業計画書
- （3）収支予算書
- （4）補助金を必要とする理由書
- （5）構成員の名簿

7 申請受付期間 令和7年5月1日(木)～令和8年3月23日(月)

8 周知方法 広報しぶかわ5月号、ホームページへ掲載

9 予算額 50万円（10万円×5件）

■問い合わせ先

産業観光部 部長 柴田 宏（内線4899）

担当：農政課（電話0279-22-2593）

課長 山田 豊（内線4971）

担い手支援係長 川田 美穂子（内線4975）

自分のペースで自宅で行う 脳の健康度セルフチェック事業を実施します

浜川市は、様々な人が広く介護予防や認知症予防のための「脳活（脳の活性化）」を始められるよう、フレイル（虚弱）予防事業を進めています。令和7年度は、さらに、より広く、より気軽に、できるだけ早期に、脳の健康に関心を持ってもらえるように、65歳となる人を対象に、自宅等で行う脳の健康度セルフチェック事業を実施します。

1 概 要

高齢者のフレイル（※）や認知症の発症・進行予防には、できるだけ早期から自分の体や認知機能に関心を持ち、自分の状態を知り、予防行動を実践する必要があります。

浜川市は、様々な人に広く介護予防や認知症予防のための「脳活」を始めてもらえるよう、フレイル予防事業を行っています。これまでは、公民館等に集合して行う教室型の事業のみを実施してきましたが、高齢者の生活様式は、少しずつ変化してきている現状があります。そこで、新たに自身の健康に目を向ける時間が持ちにくい人やこれまでの集合型の教室には参加を希望しない人などに向けた取り組みを行います。より広く、より気軽に、できるだけ早い時期に、自分の脳の健康度や介護予防、脳活に目を向けてもらえるよう、令和7年度は、65歳となる人を対象に、自宅でパソコン、スマートフォン、タブレットを使い、脳の健康度のセルフチェックが行える事業を実施します。

※「フレイル」とは、加齢にともない体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態をいいます。健康と要介護の中間に位置し、放っておくと要介護につながる危険があります。しかし、早めに気付いて適切に対処すれば、再び健康状態に戻れる段階です。

2 対 象 者

令和7年度中に65歳となる人（967人を予定）

ただし、要介護・要支援認定の申請中及び要支援・要介護認定を受けている人は除きます。

3 実施概要

（1）測定のための二次元コードの送付

毎月当月に65歳となる人に、介護保険資格取得者への被保険者証を発送しています。その通知内に自宅等で測定が行える二次元コードを同封します。その他、「健康寿命を延ばす鍵はメタボ予防に「フレイル予防」をプラス！」を同封し、65歳からの健康づくりと介護予防事業を案内します。

（2）測定の実施

実施期間は、送付月の末日までとし、希望者は、申し込み不要で、送付された二次元コードを読み込み、自宅等で測定することができます。

（3）実施者への案内

測定結果についての案内、フレイル予防、脳を活性化する生活習慣等の案内を送付します。

4 使用する脳の健康度測定

脳の健康度測定は、エーザイ(株)のブレインパフォーマンスチェック「のうKNOW WR®」アプリを利用します。視覚学習と記憶力をチェックし、脳年齢、記憶力スコア(指標)を知ることができます(「のうKNOW」は、疾病の予防や診断ではなく、測定を通じて健康意識を高めることを目的としています)。

5 事業実施期間 令和7年4月～令和8年3月の通年、毎月実施

6 実施スケジュール

- ①月初めの開庁日(4月1日)
＝当月の該当者(65歳になる人)へ通知を送付
 - ②通知到着から月末まで(4月30日(水)まで)
＝希望者は自宅等にて測定を行う
 - ③翌月最初の開庁日(5月1日(木))
＝測定実施者の確認と、実施者への案内を郵送
- ※()内は令和7年4月のスケジュールを参考に記載

参考

渋川市が取り組むその他のフレイル予防(脳活性化)事業

1 健康おうえんデー

認知症予防のための生活習慣を「学ぶ」講演会、自身の脳の健康度や体の元気度に「気付く」測定、脳活性化の運動を「体験」する事業。脳の健康度測定は、脳の健康度セルフチェック事業と同様、エーザイ(株)の「のうKNOW」を利用。

〈令和6年度実績〉

- ・実施回数等＝5会場で6回実施(参加実人数：113人)
- ・6割以上が脳の健康度測定に興味あり参加と回答、他の項目に比べ最も高い

2 複合型介護予防教室(カラダまるごと健活クラブ、旧：元気復活お達者教室)

運動機能向上または認知機能向上プログラムを主として行う送迎が利用できる教室。認知機能向上プログラムを主とした教室は、令和4年度から2会場で開始し、令和5年度からは3会場に拡充して実施しています。

〈令和6年度の実績〉

- ・実施回数等＝3会場で各22回実施(参加実人数：47人、延べ人数：796人)
- ・参加者の8割の人は、認知機能の維持・改善がみられた

3 認知機能維持教室(脳活塾)

令和4年度から一般高齢者を対象として、普段の生活から認知機能の維持が行える方法を習得できる教室を実施。令和6年度は、効果的な脳活性化事業推進のため、群馬大学大学院保健学研究科内田研究室、群馬ヤクルト販売(株)と産官学連携による調査研究を行いました。

〈令和6年度実績〉

- ・実施回数等：2会場で各10回実施(参加実人数：45人、延人数：404人)
- ・参加者の8割は、認知機能の維持・改善がみられた

4 渋川市の人口、高齢者の人数等

(1) 渋川市の人口(渋川市住民基本台帳・各年9月)

- ・平成27年(10年前)：人口81,011人、うち高齢者人口24,653人、高齢化率30.4%
- ・令和元年(5年前)：人口77,046人、うち高齢者人口26,240人、高齢化率34.1%
- ・令和6年：人口72,265人、うち高齢者人口26,377人、高齢化率36.3%

(2) 認知症高齢者の推計（各年3月31日現在・認知症施策推進委員会）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症高齢者数 （認定調査票Ⅱ a 以上）	3,295人	3,023人	2,772人	3,361人
高齢者人口に占める 認知症割合	12.4%	11.3%	10.5%	12.7%

(3) 平均寿命（国保データベースシステム・地域の全体像の把握より）

	平成30年度	令和5年度
男	80.8 歳	80.7 歳
女	86.6 歳	86.9 歳

※平均寿命は5年に1回の国勢調査で行う市町村別生命表より算出

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：介護保険課（電話0279-22-2116）

課長 小渕 正子（内線1230）

健康寿命推進係長 中川 有希（内線1233）

＼ 知ることからはじめよう、脳の健康。／

ブレインパフォーマンスのセルフチェック



デジタルツール

のうKNOW®は「記憶する」「考える」「判断する」などの脳のパフォーマンスをチェックするツールです。

日々の生活をより充実させるための「ブレインパフォーマンス（脳の健康度）」が注目されています。仕事やスポーツで自分のパフォーマンスを意識するように、自身の脳のパフォーマンスについても考えてみませんか。

これは、「人生100年時代」を楽しく健康で暮らし続けるためにも大切です。まずは、できることから少しずつ始めてみましょう。

チェックはこちらから

右記の「二次元コード」を読み取るとチェック開始画面が表示されます。
また、実施後は結果が 365 日間ご覧いただけます。

＊ID: shibukawa01



デジタルツール

「のうKNOW」について

パソコン・タブレット・スマートフォンで2つのテストを行うことにより、あなたのブレインパフォーマンスを知ることができます。画面で表示されるトランプカードが自動的にめくられるので、「はい」か「いいえ」で答えて、チェックすることが可能です。

視覚学習チェック



表示されたカードが以前に出できものと
同じかを答えることで視覚記憶力をチェックします。

記憶力チェック



めくられたカードが直前のものと同じかどうかをみも
ことにより、一時的に必要な記憶の保持ができている
かをチェックします。

※画像はイメージです。

※当該プログラムは、疾病の診断又は予防に使用されることを目的としたものではありません。

お問合せや「のうKNOW」について、詳しくは
ホームページ(<https://nouknow.jp>)をご覧ください。



エーザイ株式会社

Powered by Cogstate

渋川市美術館企画展

「渋川市手わざの美と心展」を開催します

新しい美術館のコンセプトである「つながり ひろがる あおぞら美術館」のもと、地域に暮らす人々や地域の暮らしの中にある美術をクローズアップし、渋川市の暮らしの中から生まれた作品を紹介します。

「手わざ」「美」「心」。それぞれの作者の手の中で、愛着をもって美しさが極められ、安らぎのある生活の中で、人々とつながり、ひろがっていく作品をご鑑賞いただけます。

1 目 的

市民等に様々な分野の芸術作品を鑑賞する機会を提供し、芸術文化活動の推進を図り、魅力あるまちづくりを推進するため、地域に暮らす人々や地域の暮らしの中にある美術をクローズアップし、渋川市の暮らしの中から生まれた作品を紹介します。

- 2 開催期間 令和7年4月25日(金)～6月1日(日) 午前10時～午後5時
※毎週火曜日(祝日の場合は翌日)の美術館休館日を除く

- 3 会 場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 企画展示室
(渋川市石原6-1・渋川市役所第二庁舎1階)

- 4 観 覧 料 無料

5 作者紹介

- (1) 佐藤 遥果(さとう はるか)

神奈川県足柄郡生まれ、渋川市在住

日本装飾美術学校建築装飾科、ステンドグラス工房工芸科ガラス工房研究科卒

渋川市赤城町津久田の「六箇山工房 Lokka glass」にて独立

- (2) 松村 美津江(まつむら みつえ)

渋川市生まれ、渋川市在住

日本手芸協会認定講師・指導員

小関鈴子氏の指導を受けたのち、自宅でパッチワークの教室を開く

- (3) 儘田 聡子(ままだ ときこ)

渋川市生まれ、渋川市在住

大阪芸術大学工芸科卒、内田敏樹氏に師事

商品企画デザイナー、グラフィックデザイナーを経て、工房「環」を設立

(4) 須藤 茂 (すとう しげる)

渋川市生まれ、渋川市在住
茂木秀月氏（日本画）に師事
全日本銅板研究会に所属、（一社）群馬県作家協会会員
ときめき美術展にて入選・受賞
現代の名工

(5) 摺本 好作 (すりもと こうさく) (故人)

三重県伊賀市生まれ、渋川市に在住した
月刊誌に模型工作の記事を連載
(株)コンパス設立
「軸なし観覧車」がハンズ大賞「ピープル賞」を受賞

(6) 寺島 秀昭 (てらじま ひであき)

長野県東御市生まれ、渋川市在住
竹藝家 綿貫清氏に師事し、北橘竹親会に所属
全国竹芸展・ときめき美術展にて多数入選・受賞
群馬県ふるさと伝統工芸士認定

(7) 大野 雄哉 (おおの ゆうや)

東京都板橋区生まれ、渋川市在住
「LOG AND TOYS(旧伊香保こけし創作室)」をオープン
第64回全群馬近代こけしコンクールで内閣総理大臣賞
渋川市地域おこし協力隊として令和6年3月まで活動

(8) 南雲 龍比古 (なぐも たつひこ)

神奈川県生まれ、渋川市在住
金沢美術工芸大学産業美術学科工芸デザイン科卒
龍窯十八代南雲龍に師事
紺綬褒章・賜杯受章

6 その他

会場には、現代の名工に選ばれた山口喜代蔵（故人）が制作した、旧城山荘のシャチホコ（一対）を特別展示します。

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：美術館（電話0279-25-3215）

館長 山賀 真奈美（内線4936）

管理学芸係長 川野 篤志（内線4937）

渋川市 手わざの美と心

2025.4.25 FRI ▶ 6.1 SUN

10:00～17:00 火曜休館(4/29・5/6は開館、4/30・5/7は休館です)

観覧料
無料



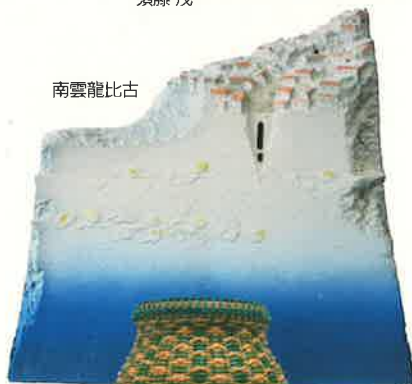
松村美津江



須藤 茂

美
心
わ
ざ

南雲龍比古



寺島秀昭



大野雄哉



儘田聡子



佐藤達果



つながりひろがる あおぞら美術館
渋川市美術館
桑原巨守彫刻美術館

渋川市役所第二庁舎 1階西 企画展示室
10:00～17:00 (入場は 16:30 まで) 火曜休館
群馬県渋川市石原 6-1 0279-25-3215





渋川市

手わざの美と心

2025.4.25 FRI ▶ 6.1 SUN

10:00~17:00 火曜休館(4/29・5/6は開館、4/30・5/7は休館です)

●佐藤遙果

神奈川県足柄郡生まれ 日本装飾美術学校建築装飾科
ステンドグラス工房工芸科ガラス工房研究科卒
神奈川県横浜市鶴九つ井 ガラス工房勤務
津久田 六箇山工房 Lokka glass にて独立

●儘田聡子

渋川市生まれ 石野安親氏に絵画を習う
大阪芸術大学工芸科卒
商品企画デザイナー・グラフィックデザイナーを経る
内田敏樹氏(とんぼ玉)に師事 工房 環 設立

●摺本佳作

三重県伊賀市生まれ 月刊誌に模型工作の記事を連載
㈱コンパス設立 プラモデルメーカーの仕事を受注
「軸なし観覧車」がハンス大賞ピープル賞
渋川市に自宅と工房を建て、面白い物作りを開始した

●大野雄哉

東京都板橋区生まれ
渋川市の地域おこし協力隊として 2024 年 3 月まで活動
「LOG AND TOYS(旧伊香保こけし創作室)」をオープン
第 64 回全群馬近代こけしコンクールで内閣総理大臣賞

●松村美津江

渋川市生まれ 30 年ほど前からパッチワークを始める
日本手芸協会認定講師・指導員
小関鈴子氏に指導をうけたのち
自宅で教室を開き活動が続けている

●須藤 茂

渋川市生まれ 茂木秀月氏(日本画)に師事
全日本銅板研究会に所属、指導
ときめき美術展にて入選・受賞
(一社)群馬県作家協会会員 現代の名工

●寺島秀昭

長野県東御市生まれ 渋川市在住
竹藝家 綿貫清氏に師事し、北橋竹親会に所属
全国竹芸展・ときめき美術展にて多数入選・受賞
群馬県ふるさと伝統工芸士認定

●南雲龍比古

神奈川県生まれ 金沢美術工芸大学工芸デザイン科卒
十八代南雲龍に師事
渋川市合併記念モニュメント「和心」制作
群馬県立女子大学非常勤講師

●特別展示 山口喜代蔵

旧城山荘のシャチホコ(一対) 渋川市にて保管



交通アクセス

- ◆関越自動車道 渋川伊香保I.C.から車で約7分
- ◆JR上越線 渋川駅から徒歩約14分
- ◆日本中央バス「女子校入口」下車すぐ

「つながりひろがるあおぞら美術館」という本美術館の取り組みのひとつとして、既存の枠組みにこだわらず、渋川市の自然と風土の中で育まれ生み出されてきた作品をご紹介します。

「手わざ」「美」「心」それぞれの手の中で愛着をもって美しさが極められ、安らぎのある生活の中で人々とながら、ひろがっていく作品をご鑑賞いただけます。

【監修】名誉館長 池田政治

令和7年度第1回「渋川まちかどトーク」を マンマ・おのがみの皆さんと開催します

市民などで構成する団体と市長などの市の関係者が、設定したテーマに基づいて意見交換を行う「渋川まちかどトーク」について、令和7年度の第1回を、4月23日(水)にマンマ・おのがみの皆さんと開催します。

1 概 要

「渋川まちかどトーク」は、市民等で構成された団体と市長などの市関係者との意見交換を行う広聴事業です。事前に設定したテーマに基づいて意見交換を行うことにより、市民ニーズなどを的確に把握し、市と市民等との協働によるまちづくりの関係を構築することを目的として開催するものです。

今回は、小野上地区で子育て支援に取り組む「マンマ・おのがみ」の皆さんと意見交換を行います。

2 日 時 令和7年4月23日(水) 午後6時～7時(予定)

3 場 所 小野上公民館講義室

4 テーマ 小野上の地域課題とワークライフバランス

5 参加者

- ・マンマ・おのがみの皆さん(6人)
- ・副市長、総合戦略部長、小野上行政センター所長、小野上公民館長

6 その他

- (1)「渋川まちかどトーク」は、令和5年度から導入した広聴事業です。事業実施希望団体からの申し込みにより開催しますが、令和5年度中は申し込みがなく、令和6年度中の開催が1回であったことから、今回が本事業2回目の開催となります。
- (2)県内12市において、市長と市民等との意見交換の機会を設けているのは、渋川市のほか前橋市、桐生市、伊勢崎市、太田市(休止中)、沼田市、館林市、安中市、みどり市の8市です。

参考

過年度の実施状況

・令和6年度（1回）

①参加団体：渋川市老人クラブ連合会

②実施日：令和6年10月4日

③参加者：渋川市老人クラブ連合会15人 ※傍聴人1人

④テーマ：高齢者の日常生活での困りごと

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史（内線2410）

担当：広報室（電話0279-22-2182）

室長 熊迫 徳三（内線2419）

広報広聴係長 武井 香代（内線2414）

渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します

渋川市は、地域で保存・継承されている伝統文化である歌舞伎の普及と後継者育成支援を目的として、今年で20年目を迎える「渋川子ども歌舞伎教室」の参加者を募集します。

1 概 要

渋川市は、地域で保存・継承されている伝統文化である歌舞伎の普及と後継者育成を目的として、「渋川子ども歌舞伎教室」を開催しています。平成18年に県が主催した「子ども歌舞伎教室」から始まったこの事業は、今年で20年目を迎えます。市は、多くの子どもたちに歌舞伎を体験してもらい、地域の伝統文化への関心を高めてもらうために、令和7年度渋川子ども歌舞伎教室の参加者を募集します。

2 期 間 令和7年6月～令和8年1月の土・日曜日（祝日の場合もあります）
午後1時30分～3時30分

3 練習回数 全10回（本番前リハーサル含む）

4 練習会場 渋川西部公民館

5 発表会（予定）

（1）渋川市20周年記念事業 渋川市民総合文化祭歌舞伎発表会（ミニ発表会）

①日時：令和7年11月15日（土）

②会場：J E S C Oアリーナ渋川（子持社会体育館）サブアリーナ

（2）ぐんま伝統芸能の祭典

①日時：令和8年1月25日（日）

②会場：吉岡町文化センター

6 講 師 山畠 玲子、石川 直子、松村 悠輔

7 募集対象

渋川市内に在住又は在学する小学3年生から中学2年生までの児童及び生徒を原則としますが、次の人は参加対象とします。

（1）中学3年生以上で、前年度から継続して参加する等、過去に参加経験がある人
※18歳を迎える年度まで

（2）小学3年生未満の参加者のきょうだいで、講師が参加を認める人

（3）渋川市内在住又は在学ではないが、講師が参加を認める人
※参加人数に余裕がある場合に限る

8 参 加 費 1人3,000円

9 申込方法 電話または参加申込書（市ホームページにあります）に必要な事項を記入して生涯学習課（電話0279-22-2500）へ

10 申込期限 令和7年6月6日（金）

参考

1 渋川子ども歌舞伎について

平成18年、群馬県主催の『ぐんま子ども歌舞伎フェスティバル』の公演に当たり、県内でも歌舞伎などの伝統芸能が盛んな渋川市で「子ども歌舞伎教室」が開催されました。この教室に参加し、歌舞伎を体験した子どもたちの「もっと歌舞伎をやってみよう」という声を受け、渋川市の伝統芸能である「歌舞伎」を次世代に伝える後継者の育成と、その振興を目指す団体として、「渋川子ども歌舞伎」を平成19年に結成しました。

2 近年の実施状況

(1) 令和元年度

①参加者数＝8人

②演 目＝絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閑居の場

③発表機会＝上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭、渋川市民総合文化祭

(2) 令和2年度

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(3) 令和3年度

①参加者数＝8人

②演 目＝菅原伝授手習鑑増補 松王下屋敷

③発表機会＝新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止

(4) 令和4年度

①参加者数＝9人

②演 目＝絵本太功記 十段目 尼ヶ崎閑居の場

③発表機会＝渋川市民総合文化祭、伝統歌舞伎の祭典、上三原田の歌舞伎舞台2022

(5) 令和5年度

①参加者数＝8人

②演 目＝鎌倉三代記 絹川村閑居の場

③発表機会＝渋川市民総合文化祭、伝統歌舞伎の祭典

(6) 令和6年度

①参加者数＝7人

②演 目＝伽羅先代萩^{めいばくせんたいはぎ} 御殿の場

③発表機会＝渋川市民総合文化祭

■問い合わせ先

教育部 部長 西脇 正悟（内線4930）

担当：生涯学習課（電話0279-22-2500）

課長 照井 智子（内線4950）

生涯学習係長 村尾 洋明（内線4954）

渋川市20周年記念事業

第20回渋川市民スポーツ祭総合開会式を開催します

渋川市20周年記念事業として、渋川市内のスポーツ関係団体が一堂に会し、年間を通じて開催される市民スポーツ大会の幕開けを飾る「第20回渋川市民スポーツ祭総合開会式」を開催し、全ての競技種目大会の開会を宣言します。

また、「渋川市社会体育功労者賞表彰式」と「第8回しぶかわ絆リレー」を同時開催します。

1 目 的

渋川市20周年記念事業として、市民がスポーツとふれあう機会を創出するための市民スポーツ祭の競技種目別市民スポーツ大会の幕開けを飾る総合開会式を開催し、全ての大会の開会を宣言します。

また、渋川市の社会体育の振興発展に貢献した指導者等の渋川市社会体育功労者賞表彰式と各競技団体の交流を深めるため第8回しぶかわ絆リレーを開催します。

2 日 時 令和7年4月26日(土) 午前9時～正午(予定)

3 場 所 瑞穂建設スタジアム(渋川市総合公園陸上競技場)

4 参加対象 渋川市スポーツ協会(6支部、27競技専門部)
渋川市スポーツ推進委員
渋川市スポーツレクリエーション協会
渋川市スポーツ少年団

5 内容及びスケジュール

(1) 総合開会式(午前9時～)

- ・各支部、競技専門部等入場(紹介)
- ・国旗、市旗、スポーツ協会旗掲揚
- ・主催者挨拶
- ・祝辞
- ・選手宣誓(少林寺拳法部)

(2) 社会体育功労者賞表彰式(午前9時55分ごろ)

令和6年度渋川市社会体育功労者賞受賞者4人を表彰

(3) ラジオ体操

指導：渋川市スポーツ推進委員

(4) 第8回しぶかわ絆リレー(午前10時45分ごろ)

6 主 催 渋川市、渋川市教育委員会、渋川市スポーツ協会、
渋川市スポーツ推進委員協議会、
渋川市スポーツレクリエーション協会

7 主 管 渋川市民スポーツ祭実行委員会

8 その他

- (1) 当日に大会と重複している競技専門部の所属選手、スポーツ少年団等については、不参加となります。
- (2) 雨天の場合は、総合開会式及び表彰式のみ、渋川市総合公園体育館で開催します。

参考

過年度の参加数

(1) 令和5年度

- ①実施日：令和5年4月16日
- ②場 所：瑞穂建設スタジアム（渋川市総合公園陸上競技場）
- ③参加数：555人（主催・来賓30人、スポーツ関係団体525人）

(2) 令和6年度

- ①実施日：令和6年4月27日
- ②場 所：瑞穂建設スタジアム（渋川市総合公園陸上競技場）
- ③参加数：609人（主催・来賓30人、スポーツ関係団体579人）

※令和6年度から、4月第4土曜日に開催

■問い合わせ先

育都推進部 部長 斉藤 章吉（内線1150）

担当：スポーツ課（電話0279-22-2241）

課長 関口 俊也（内線4957）

スポーツ振興係長 荒木 忠（内線4970）